

〔創造部門〕

1. 氏名 湯浅 政明 (アニメーション監督)
2. 年齢 57歳 ※R5.1.11現在
3. 住所 東京都 (出身：福岡県)



【経歴及び選考理由】

九州産業大学芸術学部美術学科卒業後、昭和62年にアニメ制作会社へ入社し、平成2年から放送を開始した「ちびまる子ちゃん」の本編原画に加え、初代OP「ゆめいっぱい」、初代ED「おどるポンポコリン」の作画を担当する。その後フリーランスとなった氏は、平成4年より「クレヨンしんちゃん」の制作に作画監督・原画として参加。平成5年から始まった「劇場版クレヨンしんちゃんシリーズ」には、第1作目以降、セットデザイン・原画として関わり続けてきた。

氏の長編アニメーション監督デビューは平成16年公開の映画「マインド・ゲーム」で、同作は「第8回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞」受賞を皮切りに、国内外の数々の賞を獲得。以降の監督作「カイバ」、「四畳半神話体系」、「ピンポン THE ANIMATION」等でも国内外の多くの賞を受賞するなど、氏は監督として国内外で高い評価を得ている。

平成29年4月には映画「夜は短し歩けよ乙女」を、5月には自身初となるオリジナル長編映画「夜明け告げるルーのうた」を全国連続公開。「夜は短し歩けよ乙女」は、「オタワ国際アニメーション映画祭長編部門」で日本の作品では初となる長編部門グランプリを受賞、さらに「夜明け告げるルーのうた」は、「第41回アヌシー国際アニメーション映画祭長編部門クリスタル賞」を受賞。長編部門最高賞であるクリスタル賞受賞は、宮崎駿監督、高畑勲監督に次ぐ日本人史上3人目の快挙となった。同作は、「第21回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞」も受賞。氏の同賞受賞は3度目で、賞の創設以来、初めての快挙であり、同年、「文化庁長官表彰（国際芸術部門）」を受賞している。

最近では、令和2年にNHKで放送されたテレビアニメ「映像研には手を出すな！」で監督を務め、「第24回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞」を受賞。氏の監督作としては4作目の大賞受賞となるとともに、氏はテレビアニメで2度大賞を受賞した最初の監督となった。このほか、令和4年に一般公開された長編アニメーション映画「犬王」が「ファンタジア国際映画祭アニメーション部門（今敏賞）長編賞」などを受賞している。

このように、氏の優れた業績は、福岡県にとどまらず、国内外におけるアニメーション界の向上・発展に大きく貢献している。

【主な監督作品と受賞歴】

■アニメーション映画

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 「マインド・ゲーム」（平成16年） | 第8回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門 大賞 等 |
| 「夜は短し歩けよ乙女」（平成29年） | 第41回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞 等 |
| 「夜明け告げるルーのうた」（平成29年） | 第41回アヌシー国際アニメーション映画祭長編部門クリスタル賞 等 |
| 「きみと、波にのれたら」（令和元年） | 上海国際映画祭金爵賞アニメーション最優秀作品賞 等 |
| 「犬王」（令和4年） | ファンタジア国際映画祭アニメーション部門（今敏賞）長編賞 等 |

■テレビアニメ

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 「カイバ」（平成20年） | 第12回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞 |
| 「四畳半神話体系」（平成22年） | 第14回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞 等 |
| 「ピンポンTHE ANIMATION」（平成26年） | 第14回東京アニメアワードテレビ部門グランプリ |
| 「映像研には手を出すな！」（令和2年）他 | 第24回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞 等 |

■褒章

- 紫綬褒章（令和3年）

（参考）創造部門：個性的・創造的な文化活動を行い、優れた業績を残し、県民文化の向上・発展に貢献したもの